

(2013 年度) 第 2 回応用地形判読士資格検定試験 二次試験問題

[午後の部]

実技試験の注意事項

- (1) 実技試験の実施日時は、2013 年 11 月 30 日（土）の 10 時 0 分から 15 時 0 分までとする。
  - ・ 午前の部：10 時 0 分から 12 時 0 分までの 2 時間.
  - ・ 午後の部：13 時 0 分から 15 時 0 分までの 2 時間.
- (2) 試験開始後 1 時間は、退場を認めない。
- (3) 解答は、図示を求める問題に対しては [地形図] (地形判読記号などを記入する [記号凡例用紙] を含む) に、記述を求める問題に対しては [マス目入り答案用紙] に、それぞれ記入すること。

**地形図 ( 記号凡例用紙 を含む) および マス目入り答案用紙 には、受験番号 を必ず記入すること。**
- (4) 指定した読図範囲について、問題にしたがい読図すること。実体視できる範囲については、読図に加え空中写真判読を行うこと。

これらの結果は、その地形図に図示すること。図示するにあたり、地形種の輪郭は明確に記入すること。ただし、地形種は、地形判読記号、色、模様などにより判別できる程度としてもよい。
- (5) 地形図に記入する地形判読記号、色、模様などは、特に定めない。ただし、使用した地形判読記号などは、別に配布してある [記号凡例用紙] に記入すること。
- (6) 試験の開始にあたり、印刷の不鮮明な点がないことを確認すること。
- (7) 試験開始後は、参考書籍のほか、携帯電話など電子機器類の使用は一切禁じる。また、携帯電話など音を発生させる機器類は、必ず電源を切ること。
- (8) この注意事項の説明後は、原則として質問に応じない。
- (9) 試験終了後、この問題用紙は持ち帰ってもよい。

ただし、①地形図 (記号凡例用紙を含む)、②マス目入り答案用紙、③空中写真は、机の上に残すこと。

◇ 地形図と記号凡例用紙および答案用紙には、受験番号を必ず記入すること。

《問題》

1. 地形図に太線で指定する範囲について、地形図と空中写真により、この地域を応用地形学的に特徴づける主要な地形種に注目してそれらに重点を置いた地形判読・地形分類を行ない、その結果を地形図上に図示しなさい。

作成する地形判読図は、各種災害対策などで用いられることに配慮した表現方法とすること。

地形分類記号などは任意に設定して、別紙の「記号凡例用紙」に記入しなさい。

2. この地域の地形発達史および地形・地質条件を考慮して、図示した範囲で発生しやすい自然災害について考察し、マス目入り答案用紙に 800 字を超えないように記述しなさい。

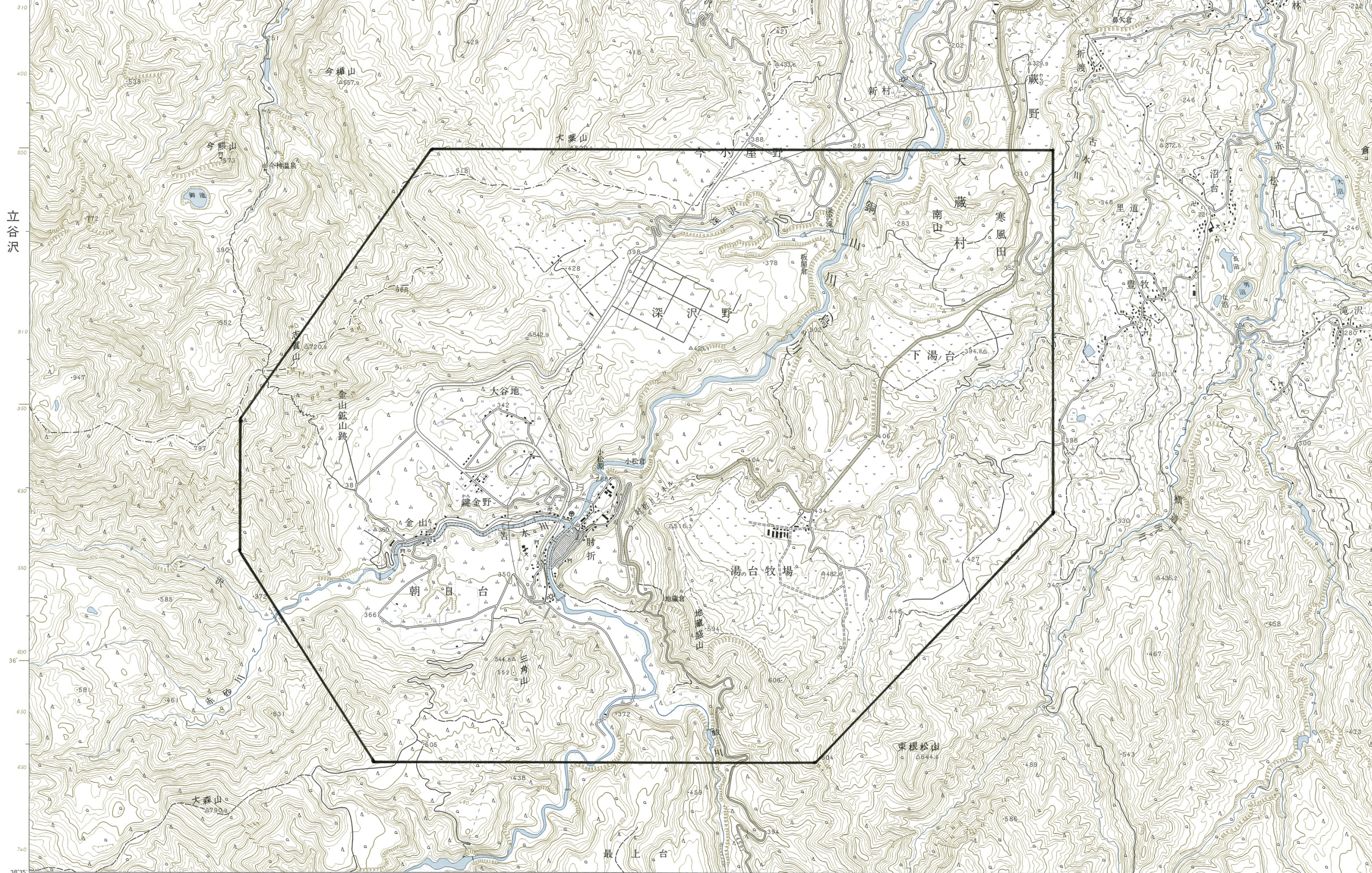
必要に応じ、地形図中の参照する地点・地域に、記号、番号などを付してもよい。

<参考>

地形図 国土地理院 25,000 分の 1 地形図「肘折」(平成 14 年 9 月 1 日発行)

空中写真 整理番号：MTO-69-09Y／コース番号：C2／写真番号：7 番～9 番





立谷沢

38°35' 140°7'30"  
38°35'10" 140°7'17.8"

1:25,000 肘折  
500 0 500 1000 1500

至寒河江 葉山